

Safe Volu

(Former First Aid)

静岡県赤十字安全奉仕団機関紙 No.62 平成19年6月1日発行

平成19年度定期総会終わる

5月19日(土)に平成19年度の定期総会を開催し、上程された議案のすべてが承認されました。このことにより、平成19年度は順調にスタートできることとなりました。また、当日会場には「能登半島地震義援金箱」が設置され、出席団員からの義援金を団員代表として、東部地区の前田副委員長から支部へ手渡しました。今年度の活動の主なものは、次のとおりです。(事務局)

平成19年度活動計画

- 9月1日(土) 静岡県・伊豆市総合防災訓練(支部事業, 伊豆市)
- 9月8日(土) ワールドファーストエイドデー(支部事業, 静岡市)
- 9月22日(土) 支部災害救護訓練(支部事業, 静岡市)
- 10月13日(土) 救急員フォローアップ講習(支部事業, 静岡市)
- 10月23・24日 第3ブロック訓練(支部事業, 掛川市)
- 11月1~4日 大道芸ワールドカップ救護ボランティア(単独事業, 静岡市)
- 20年1月29~31日 介助員フォローアップ講習(支部事業, 県内3会場)

大道芸ワールドカップ実行委員会が「基礎講習」を受講

～来場者と参加者・関係者の「安全と安心」を目指して～

5月20日(日)支部において、大道芸ワールドカップ実行委員会のスタッフに対する「救急法基礎講習」の指導が、安全奉仕団員の中の救急法指導員によって行われました。実行委員会の面々は、救急法の知識と技術の修得に真剣に取り組み、大道芸の「安心と安全」を再確認していました。次回は、当日ボランティアを含め、多くの受講者が期待されています。(イベント救護部会)

「第47回静岡県青少年赤十字大会」から

5月27日(日)静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」において、第47回静岡県青少年赤十字大会が開催されました。本大会の様子について報告がありましたので、紹介いたします。

「開会前は学生達の元気な挨拶と笑顔に心を癒され、開会後は学生主体の大会運営に驚かされました。県内加盟校は小中高合わせて165校もあり、メンバー数は約3万8千名。その一人一人が「気付き・考え・実行する」を目標に仲間と力を合わせて挨拶運動・清掃活動・施設訪問などを行っていました。ある中学校では「ボランティアボード」を設置し、校内だけでなく地域住民のニーズにも応えています。国際交流事業派遣団員のベトナム訪問の発表では、「勉強や食事が出来る事は幸福なのだ実感した」と世界情勢への関心も高まっており、今後も青少年赤十字の様々な活動が期待されます。青少年だけでなく、年齢・地域などによらずボランティアに参加する人が増える事を願っています。そして安全奉仕団も積極的且つ柔軟に活動していかなければ・・・と痛感させられた大会となりました。」(事務局)

今月の眼(見た)、耳(聴いた)！「百日咳って・・・なあ～に」

最近流行っている『百日咳』。百日咳は、主にワクチン接種をしていない乳幼児に多く見られる病気ですが、大人にもかかります。大人で4週間以上咳が続いているようでしたら病院への受診をおすすめします。乳幼児は小児科、大人は内科の受診が良いでしょう。感染源は『百日咳菌』で、くしゃみ等による飛沫感染です。風邪の症状から始まりますが・・・風邪薬を飲んでいてもしだいに咳が酷くなってきます。顔を真っ赤にした咳き込み等の症状のある方は、**ご注意ください！！**

(広報・機関紙部会)